

夜空を見上げて 無限の宇宙に思いをめぐらす

一昨年、獅子座流星群が話題になった時、夜空を見上げていくつもの流れ星を見た方も多かったはず。夜空の向こうには、まだ誰にも知られていない天体の神秘があふれている。今月はそんなロマンに魅せられた沿線のアマチュア天文家グループ「多摩天文グループ」の斉藤さんに、星空の魅力、観測の楽しさをつかかった。

沿線にも多い アマチュア天文家

8月27日、火星が大接近し、地球との距離が5、578万 まで近づいた。「実は火星は2年2か月の周期で地球に接近してはいますが、それほど大接近するのは79年ぶりなんですよ」と興奮気味に話す斉藤さん。今回を上回る大接近は2287年まで起こらないというから、まさに千載一遇のチャンスだ。

斉藤さんが所属する多摩天文グループは川崎市の多摩、麻生区を中心

に活動するアマチュア天文サークル。日本のアマチュア天文家の実力は世界的にもトップレベルで、昨年は過去最多の12個の新天体(彗星、新星、超新星)を発見している。小田急沿線でも、秦野市在住のアマチュア天文家が、発見した小惑星を「Hadano」と命名し話題を集めるなど、天文ファンは多い。

「宇宙はまだ未知の世界、学術的に研究するにも興味深く、面白い分野です。しかし夜空って、ただ見上げていても美しいですよ。満天に輝く星空、流星群…まさにロマン

であり、ドラマです。私たちはそんな夜空を眺めたり、写真に撮ることを主な活動としています」。

夜空は日常と違う世界 ストレスも吹き飛ばす

同グループの設立は1972年、沿線の中学に通っていた、星好きの2年生8名が集まって結成された。現在は30代、40代を中心に会員は約30名、設立当初からのメンバーも残っている。会社員、公務員、医師、主婦と、職業はさまざま。活動は月一度の星見会、季節ごとの合宿の

ほか、年5回会報も発行している。グループとしてハケ岳の「星の村」に観測所も所有していて、星見会はここで行っている。観測所には天体ドームとブレハブの宿泊施設も併設している。

「川崎でも、柿生辺りでは20年ほど前まで天の川も見えたのですが…。現在では残念ながら、明るすぎて天体観測に適しているとは言えません。しかし台風一過やお盆、正月などは空が澄み、きれいに見えるこ

とがありますよ」。

沿線では丹沢辺り、その他では、三浦半島の突端などが神奈川県内でおすすめのスポットという。

斉藤さんは入会して15年目。小学生の時、川崎市青少年科学館でプラネタリウムを見てから星に興味を持つようになったという。

「大地に覆そべって夜空を見上げていると、自分が自然と一体化したようになり、日常と違う世界が見えてきます。クヨクヨ考えていたことが些細に感じられますし、仕事のストレスも吹き飛ばすよ(笑)」。

山や海でのキャンプの夜、暗闇の

夏の合宿で撮影した「夏の天の川」
肉眼で見るとより、光を集めて撮る天体写真はきれいに写る(南会津にて)



投影日・投影時間についてはお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

川崎市青少年科学館

毎月話題を変えた番組を投影しています。
観覧料 / 大人200円、高校生・大学生100円、中学生以下65歳以上無料 **開館時間** / 9時30分～16時45分 **休館日** / 月曜（祝日の場合は翌日休 土日の場合は開館）
交通 / 向ヶ丘遊園駅から徒歩15分
お問い合わせ / 044-922-4731
<http://ksm.keins.city.kawasaki.jp/index.asp>

相模原市立博物館

県内最大級のドームで星の紹介を行うほか、全天周映画の上映もあります。
観覧料 / 大人500円、小人200円 **開館時間** / 9時30分～17時 **休館日** / 月曜（祝日の場合は翌日休、その他臨時休館あり）
交通 / 相模大野駅から相模原駅行きバス宇宙科学研究所入口下車徒歩5分
お問い合わせ / 042-750-8030 <http://www.remus.dti.ne.jp/sagami/index.htm>

厚木市子ども科学館

季節毎に番組が変わります。秋の番組は6日 から始まります。
観覧料 / 大人100円、小人50円 **開館時間** / 9時～16時30分 **休館日** / 月曜、祝日の翌日、毎月の末日（ただし、土日祝にあたる場合は開館）
交通 / 本厚木駅から徒歩3分
お問い合わせ / 046-221-4152 <http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/acsc/>

伊勢原市立子ども科学館

季節毎に一般投影番組が変わります。小さな子ども向けの番組もあります。
入館料+プラネタリウム観覧料 / 大人800円、小・中学生300円、4歳以上200円 **開館時間** / 9時～17時 **休館日** / 月曜（祝日の場合は翌日休）、祝日の翌日（土日の場合は火曜休）、第一水曜、その他特別点検整備期間あり
交通 / 伊勢原駅から徒歩15分
お問い合わせ / 0463-92-3600 <http://www.city.isehara.kanagawa.jp/kagakukan/index.html>

湘南台文化センター

当日の夜に見られる星空の生解説があります。 9月1日～10月3日まで長期休演。
宇宙劇場入場料 / 高校生以上500円、中学生以下200円 **開館時間** / 9時～17時 **休館日** / 月曜（祝日の場合は翌日休） 祝日の翌日
交通 / 湘南台駅から徒歩5分
お問い合わせ / 0466-45-1500 <http://www.kodomokan.fujisawa.kanagawa.jp/>

ベネッセスタードーム

3か月ごとに番組のテーマが変わり、多摩市から見える星座も紹介しています。
観覧料 / 一般400円、中学生以下65歳以上200円 **開館時間** / 11時～16時30分 **開館日** / 一般公開は土日祝、夏休み・春休み期間中のみ
交通 / 小田急多摩センター駅から徒歩5分
お問い合わせ / 042-356-0814 <http://www.star-dome.com/>



例会の様様と会報の『Milky Way』(結成30周年記念号)

中で寝転がって星空を眺める。アウトドアライフの楽しみが一つ加わりそうだ。「肉眼でも見えますし、普通の双眼鏡があれば、より星の世界が身近に感じられます」。

立派な望遠鏡などそろえなくても楽しめるそうだ。
秋の夜空は昴、アンドロメダ座がおすすめ

火星は先月27日に最接近したが、今でも例年よりずっと近くで輝いている。「火星は、周りの星より際立って赤く、明るく見える星なので、もちろん肉眼でも見えます。夕方は南東の空、徐々に南に移動し、真夜中には南の空に見えますよ」。山奥まで行かなくても、街中でも見るこ

とができるそうだ。
 斉藤さんにとって、これまででもっとも感動したのは2年前の獅子座流星群。「30年間星を眺めてきて、あれほどの流星を見たのは初めて。大きな話題になったので、ご覧になった方も多いでしょう」。

2001年の獅子座流星群は、肉眼でも多いときは毎分30個以上の流星を見ることができた。まさに流星雨。流星群は毎年決まった時期に星座のある一点を中心に放射状に飛ぶ

流星の群れで、最もよく見える日（極大日）も決まっている。今年も、獅子座流星群（極大日11月17日）の他に、オリオン座流星群（同10月22日）、ふたご座流星群（同12月13日）などがこれから見られる。また年によって大出現することもあり、獅子座流星群は33年周期で、それが1昨年だった。天空のドラマは季節、年によって移ろう。「秋の星座ではアンドロメダ座、昴、初冬にはオリオン星雲などがおすすめです」。

もちろん、漫然と夜空を見上げるのもいいが、ある程度の知識を持って観望した方がより楽しい。「幸い、小田急沿線にはプラネタリウムが多く、天体観測会なども行われていきます。そこで基礎知識を得るのもいいでしょう。もちろんうちのグループに入会していただくのも大歓迎です（笑）」。

9月11日は中秋の名月。初心者の方には夜空を眺める絶好のチャンスだ。これを機会に天体観測を始めてみてはいかがだろうか。